

企業IR & 個人投資家 応援イベント

2024年7月27日

西華産業株式会社



(東証プライム市場 証券コード8061)



1. 西華産業について
2. 2024年度の業績見通し
3. 成長戦略
4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応と株主還元
5. 社長メッセージ

— 参考資料 —

1. 西華産業について

社名	 西華産業株式會社 SEIKA CORPORATION		
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号（新東京ビル3F）		
設立	1947(昭和22)年10月1日		
代表者	代表取締役社長 櫻井 昭彦		
資本金	67億28百万円		本社：丸の内 新東京ビル
従業員数	連結：1,040名 単体：346名 （2024年3月末現在）		
主な事業内容	発電設備、環境装置、産業機械、電子機器の販売および輸出入、アフターサービス		
西華産業 各拠点	国内：本社、大阪支社、福岡支店、広島支店ほか	=全29拠点	
	海外：台北支店、ソウル支店ほか	=全3拠点	
国内外グループ 拠点数	国内：11社 国内拠点：99拠点	海外：17社 海外拠点：25拠点	=全124拠点
企業理念	“ 社業の発展を通じ社会に貢献する これをわが社の信条とする ”		

1. 西華産業について

火力・原子力・再エネ等
エネルギー発電関連設備 等



エネルギー
事業



産業機械
事業



プロダクト
事業



機能性素材・食品飲料等生産設備、
プラント機器 等

要素機械、自動化装置、半導体、
特殊計測等関連製品 等

1. 西華産業について（エネルギー事業）

エネルギー事業

- 火力・原子力・水力・バイオマスなど国内発電所向け関連設備販売
- 各発電所・プラントの定期検査やアフターメンテナンス



【中計 取り組み方針】

電力の安定供給を支える使命の遂行、加速するGXへの追従

火力発電

- 脱炭素化に向け高効率ガスタービンの拡販
- 水素・アンモニア焚きガスタービンの拡販
- 既存発電設備の延命化への貢献
- 安定操業に向けた確実な保守点検

原子力発電

- 定期点検や保守業務

再生可能エネルギー

- 太陽光・バイオマス・水力発電等
エネルギー関連設備の拡販及び同事業への参画



発電所



化学プラント

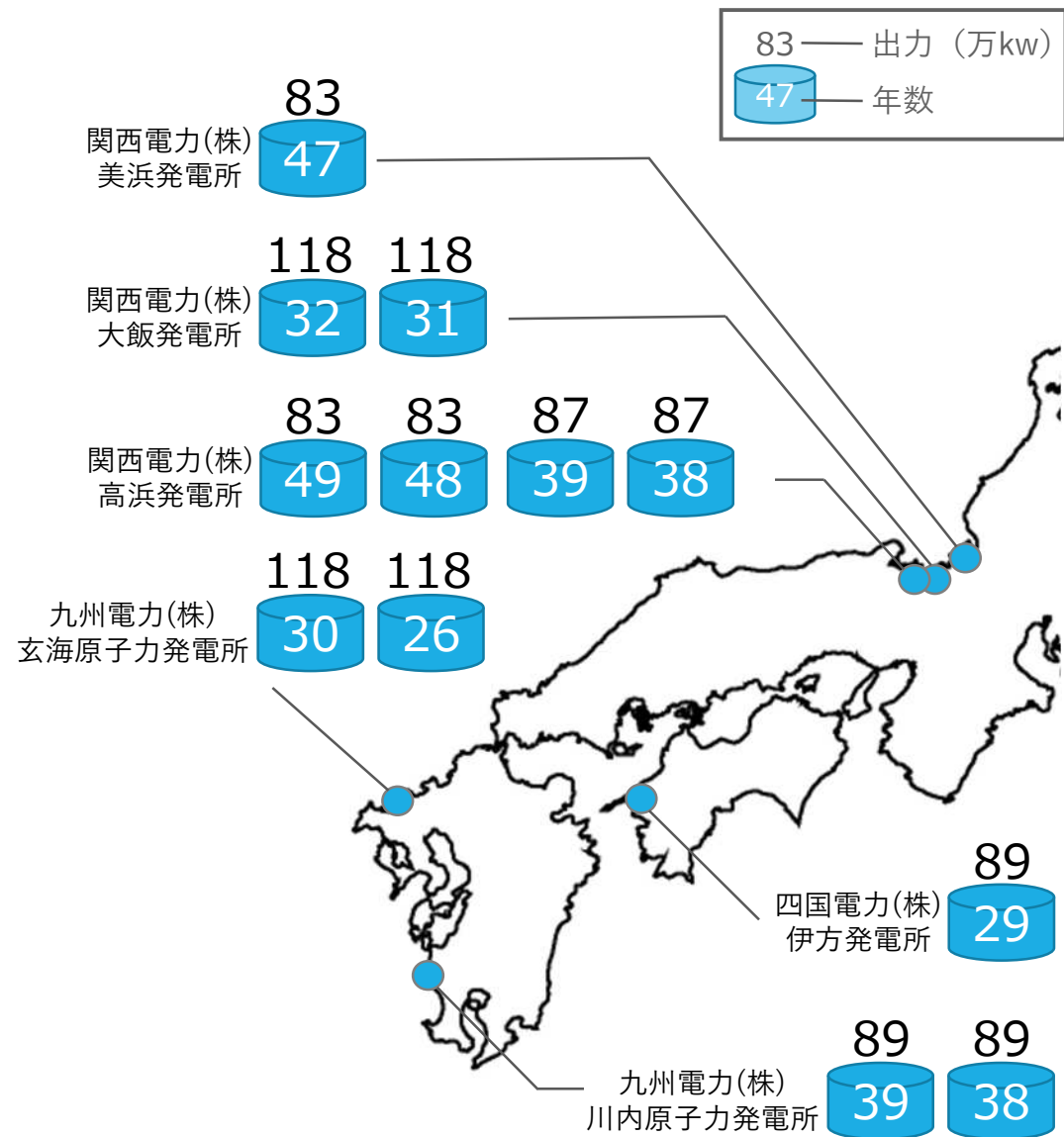


発電設備

1. 西華産業について（エネルギー事業）



- ✓ 関西、四国、九州の計12基の三菱重工業製PWR型を担当
- ✓ 主業務は法令に基づく13カ月ごとの定期点検や保守業務
- ✓ 運転期間延長に伴う主要機器更新等の大型商談や、燃料サイクル関連商談並びに廃炉商談への取組み



経済産業省資源エネルギー庁資料より抜粋（2024年4月19日時点）

1. 西華産業について（産業機械事業）



産業機械事業

- 繊維、フィルム、食品・飲料などの幅広い一般産業向けの各種設備・設備等
- 工場プロセスの自動化・省人化設備等



【中計 取り組み方針】

社会環境ニーズに呼応した総合的提案の実現

省エネ・省人化、DX

- 食品飲料・フィルム等、業界ごとに最適な自動化・省資源化設備のご提案
- ロボット等を活用したDX化推進

サーキュラーエコノミー

- 繊維・プラスチックを軸とした資源のリサイクル・リユースビジネスの推進
- 新技術・商材の発掘と既存事業とのミックス

ソリューションビジネス

- 機器単体の販売ではなく、顧客ニーズに対し総合的に対応した営業をさらに深化



フィルム関連設備



工場内自動立体倉庫

1. 西華産業について（プロダクト事業）

🏭 プロダクト事業

- 船舶用エンジン、各種バルブ、プラント設備点検、計測機器、水中ポンプ等
- 独自の強みを持った特徴ある製品



【中計 取り組み方針】

オンリーワンを目指し、製品競争力・サプライチェーンの強化

西華産業、西華デジタルイメージ

- 海外市場も含め強い商材の発掘
- 半導体事業の強化

日本ダイヤバルブ

- 生産・供給能力の増強のための設備投資
- 技術優位性確保のための開発

Tsurumi(Europe)GmbH

- 欧州における販売代理店の維持・拡大
- 欧州のインフラプロジェクト捕捉と営業強化

セイカダイヤエンジン、敷島機器

- 船舶用エンジンの取扱経験を活かした関連市場・機器の開拓



日本ダイヤバルブ
ダイヤフラム弁



Tsurumi (Europe) GmbHグループ
水中ポンプ



セイカダイヤエンジン
船用エンジン

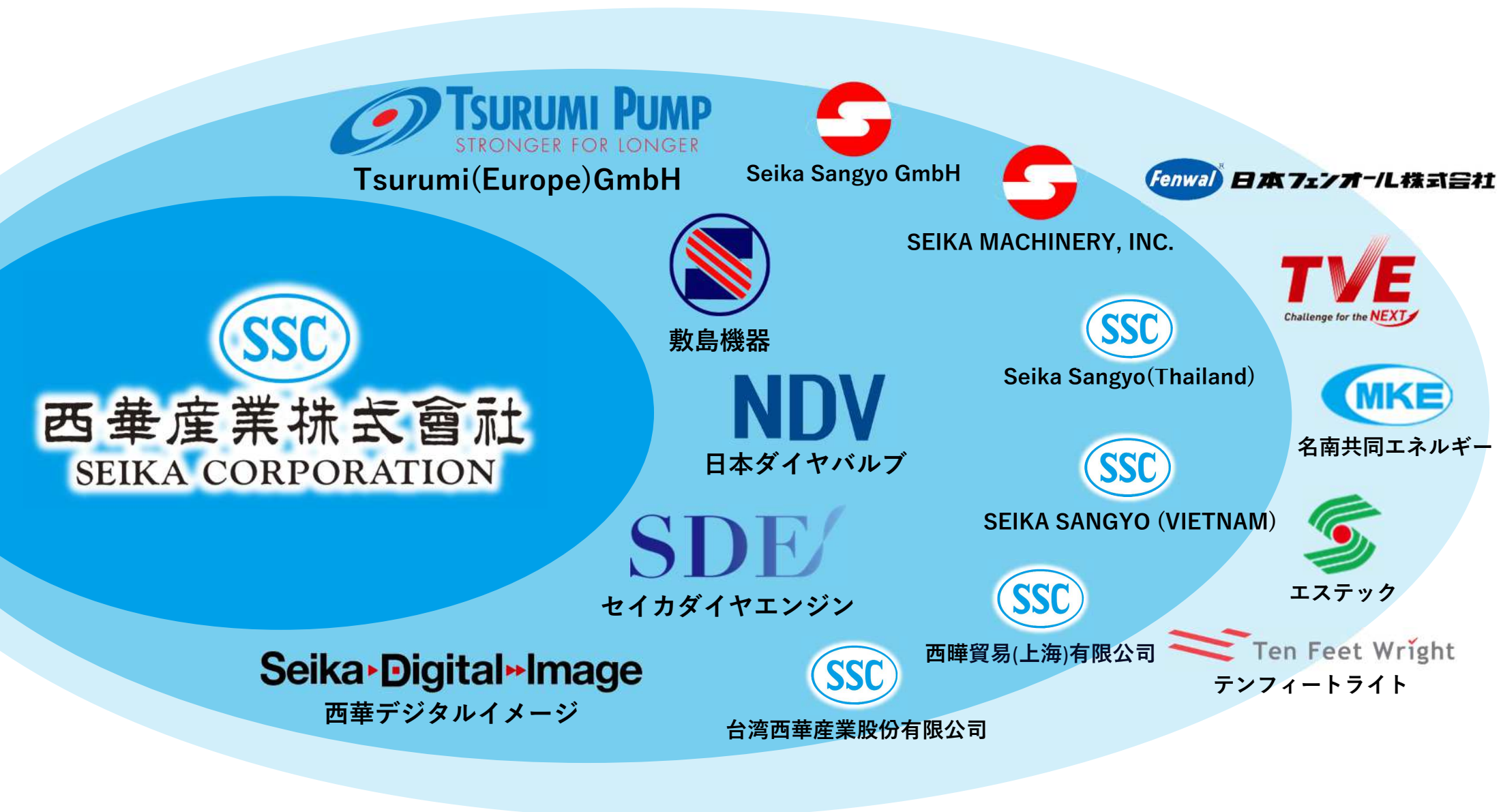


西華産業
ドローン点検サービス

1. 西華産業について（連結の範囲）

連結子会社（国内/海外）

持分法適用会社



SSC
西華産業株式会社
SEIKA CORPORATION

Tsurumi PUMP
STRONGER FOR LONGER
Tsurumi(Europe) GmbH

Seika Sangyo GmbH

Fenwal 日本フェノール株式会社

敷島機器

SEIKA MACHINERY, INC.

SSC
Seika Sangyo(Thailand)

TVE
Challenge for the NEXT

MKE
名南共同エネルギー

NDV
日本ダイヤバルブ

SSC
SEIKA SANGYO (VIETNAM)

エステック

SDE
セイカダイヤエンジン

SSC
西擘貿易(上海)有限公司

Ten Feet Wright
テンフィートライト

Seika Digital Image
西華デジタルイメージ

SSC
台湾西華産業股份有限公司

2. 2024年度の業績見通し

	2023年度 実績	2024年度 予想	増減率
取扱高 (注)	2,053.8 億円	2,330 億円	+13.4 %
売上高	867.8 億円	900 億円	+3.7 %
営業利益	55.8 億円	50 億円	▲10.4 %
経常利益	62.5 億円	54 億円	▲13.7 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	44.8 億円	54 億円	+20.3 %

(※1) 連結業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。

(※2) 「取扱高」については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。

2. 2024年度の業績見通し

(単位：億円)

	取扱高			売上高			セグメント利益		
	2023年度 実績	2024年度 予想	増減額	2023年度 実績	2024年度 予想	増減額	2023年度 実績	2024年度 予想	増減額
エネルギー事業	1,445.8	1,741	+295.2	297.0	337	+40.0	19.8	20	+0.2
産業機械事業	313.1	274	▲39.1	276.0	249	▲27.0	1.5	2	+0.5
プロダクト事業	294.8	315	+20.2	294.7	315	+20.3	33.7	27	▲6.7
合計	2,053.8	2,330	+276.3	867.8	900	+33.3	55.1	50	▲5.1

3. 成長戦略

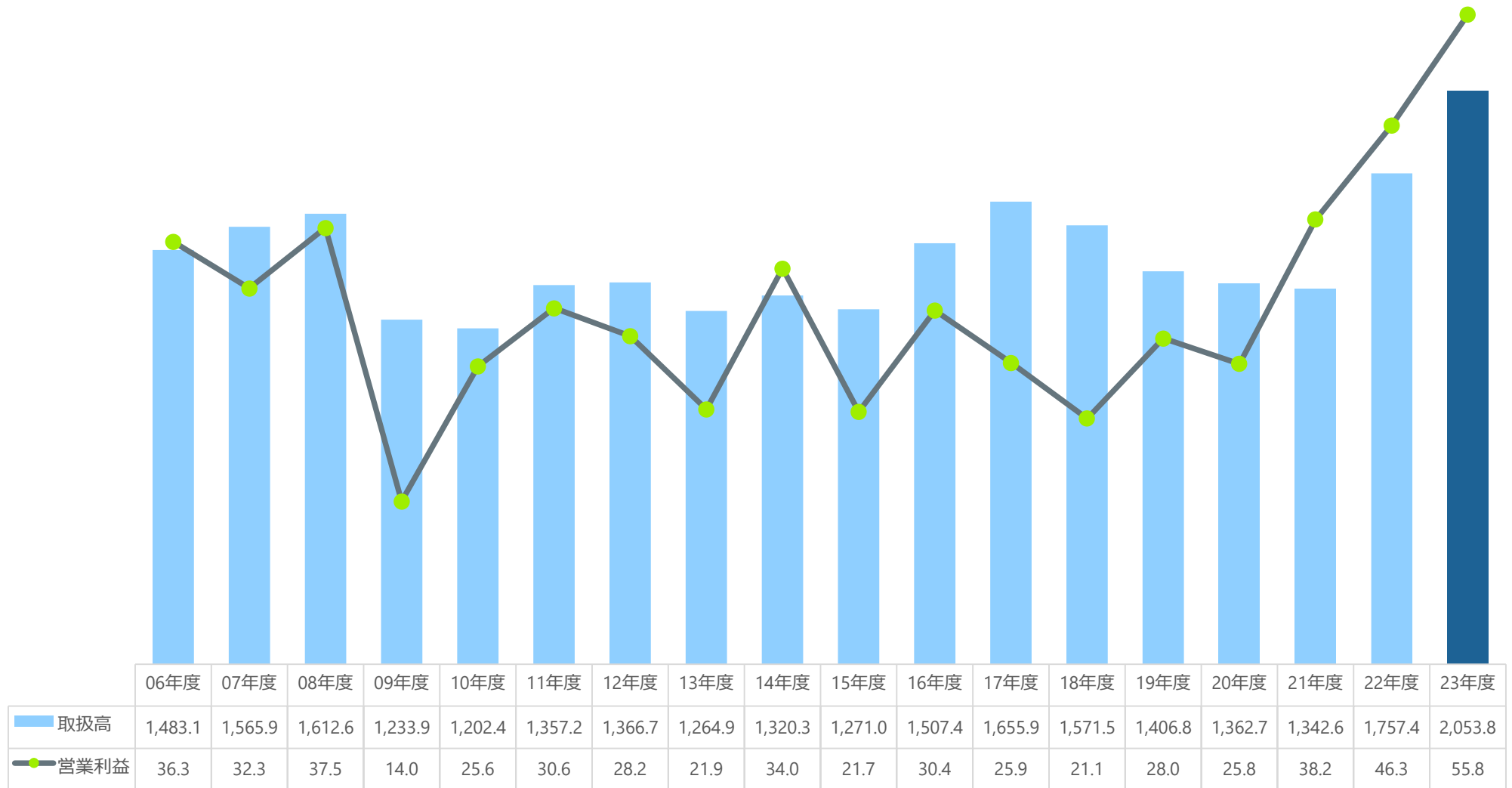
中期経営計画「VIORB2030 Phase1」の最終年度となる2026年度の数値目標は、中間点である2年経過時点（2024年度）で進捗状況を確認し、必要に応じて見直すこととしておりました。2023年度実績は、最終年度の営業利益および当期純利益の目標を前倒し達成したため、2026年度の目標を今年度中に再設定し公表します。

	2023年度 実績	2024年度 予想	2026年度 当初数値目標
売上高	867.8億円	900 億円	1,100億円
営業利益	55.8億円	50 億円	52億円
経常利益	62.5億円	54 億円	52億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	44.8億円	54 億円	35億円

上方修正を
検討

3. 成長戦略（連結 取扱高・営業利益の推移）

■ 取扱高 ● 営業利益 （単位：億円）



※「取扱高」については、「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合における数値となります。

3. 成長戦略

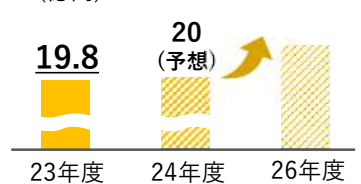
長期経営ビジョン「VIORB 2030」で掲げる2030年度当期純利益目標45億円（営業利益65億円）の前倒し達成も目指すため、「VIORB2030 Phase1」における営業戦略を加速させて参ります。



💡 エネルギー事業

【セグメント利益】
(億円)

【営業戦略】



- 脱炭素のユーザーニーズを捉え商権拡大

🏭 産業機械事業

【セグメント利益】
(億円)

【営業戦略】

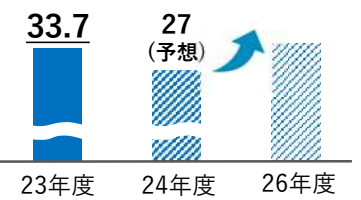


- サークュラーエコノミー実現への提案
- 各種自動化へチャレンジ

🏭 プロダクト事業

【セグメント利益】
(億円)

【営業戦略】



- 先端計測機器の開拓
- DX化アイテムの提案
- 半導体分野への突破口

合計 55.1 50

4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応と株主還元

具体策

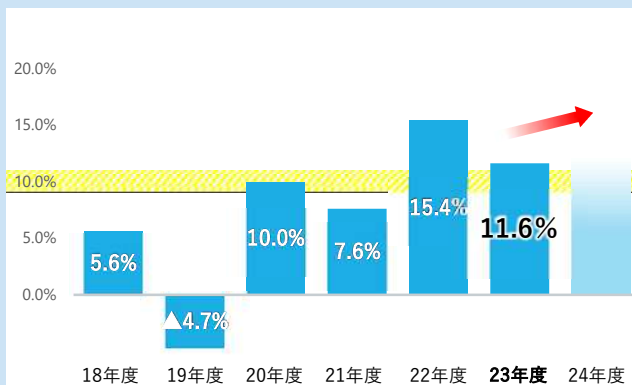
ROE目標（当初8.0%台維持）を10.0%へ上方修正し、長期経営ビジョンの収益目標を前倒し達成するため、PDCAサイクルを効果的に回す組織体制を整備する

株主還元の方針を「配当性向」から「総還元性向」へ変更し、その水準について45%を目途とし、株主還元を強化する

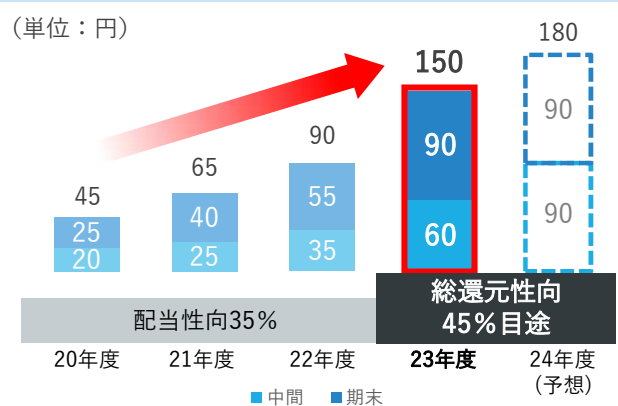
政策保有株式の縮減を進め、計画通り2024年度末までに連結純資産の20%を下回る水準を目指し、将来的には10%までの縮減を検討

進捗

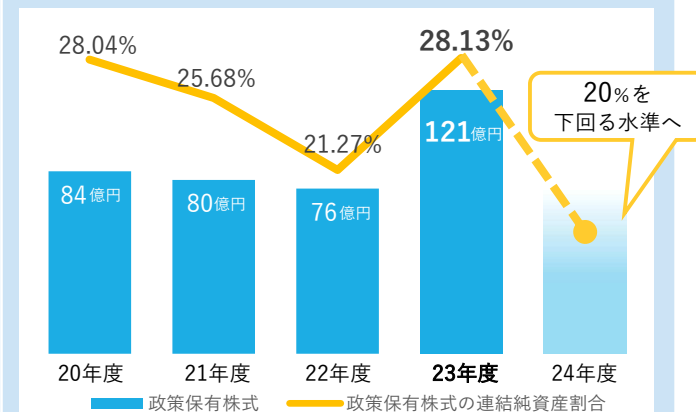
2023年度は上方修正後の目標を達成し、11.6%となった
更なる向上を目指す



配当性向35%目途から、
総還元性向45%目途に変更



2024年度末までに政策保有株式の連結純資産割合20%未満を達成する見通し



4. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応と株主還元

具
体
策

株主優待制度を導入し、新しい株主を呼び込み、売買取引活性化を目指す

当社の取り組みが幅広く理解されるよう、情報開示・投資家との対話・IRを強化する

財務健全性を維持しつつ、強いB/Sを活かし、100億円規模の成長投資を実行

・株主優待制度の導入

保有株式数	優待内容
100~299株	クオカード1,000円分
300~499株	クオカード2,000円分
500株~	クオカード3,000円分

・個人投資家向け会社説明会の実施（年間計6回開催）

・IR面談への対応強化
2022年度：6件
2023年度：24件

具体的な取り組みを
鋭意検討中

進
捗

・売買高
2022年度：平均19.56百万円/日
2023年度：平均38.45百万円/日
→**96.5%増**

・株主数
2022年度末：7,734名
2023年度末：10,444名
→**35.0%増**

・統合報告書の発刊
・アナリストレポートの公開（シェアードリサーチ社）
・テレビ、ラジオ、雑誌媒体におけるパブリシティ強化
・当社ホームページの全面リニューアル

持続的成長に向けた健全なインセンティブとして機能する役員報酬制度を導入する

時価総額、ROE、中期経営計画実行度を評価ポイントとするBIP信託制度の導入

5. 社長メッセージ

- ▶ 2023年度の業績見通しを踏まえ、中期経営計画「VIORB2030 Phase1」の目標数値の見直し
- ▶ 現場力の向上と取扱商材の開拓により、既存事業の収益拡大を図ることで、長期経営ビジョンの数値目標の前倒し達成を目指す

- ▶ 日本のエネルギー供給を担う重要ポジションに転換
- ▶ 経営理念（社是）と日常業務がビルトインし、社員の意識が向上。また、コンプライアンスの意識にも好影響





参考資料

1947年の設立から、機械総合商社として最も早い1961年10月に東証一部に上場、2022年にプライム市場へと移行いたしました。
西華産業は2024年10月1日をもって創立77年目となりますが、伝統と変革を両軸として中期経営計画「VIORB2030 Phase1」のもと、さらなる飛躍を実現していきます。

創業 事業基盤創成

高度経済成長とともに発展

グループの拡大と経営体質の強化

「カーボンニュートラル社会」に向けた経営

1947~

1970~

1990~

2010~

発足時の基盤を築いた炭車



1954 ドイツに海外駐在員事務所を開設



1961 東京証券取引所第一部上場

1974 労働組合結成

1983 本社を東京に移転



1986 米国へ事業進出



1997 創立50周年

2005 日本ダイヤバルブを子会社化

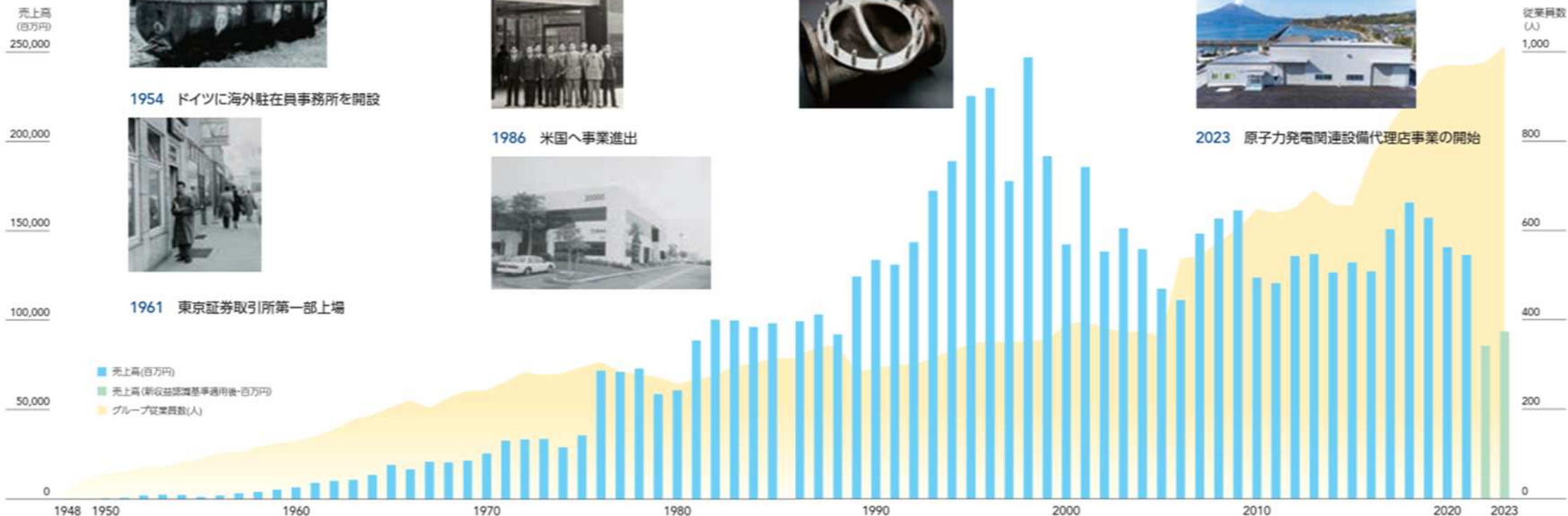


2016 敷島機器を子会社化

2020 セイカダイヤエンジン設立



2023 原子力発電関連設備代理店事業の開始



西華産業の歩み①

1947.10 旧三菱商事株式会社の解散に伴い、同社 関係者が門司市（現 北九州市門司区）に資本金195千円にて当社設立

1948～1951 日本各地に事務所設立（長崎、福岡、大阪、広島、東京、高松）

1961.10 株式を東京証券取引所第一部に上場

1974.01 ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Seika Sangyo GmbH を設立

1983.05 台湾（台北）に台北事務所を開設

1983.11 ドイツに株式会社鶴見製作所との合併会社 Tsurumi(Europe)GmbHを設立

1994.04 アメリカ（ロサンゼルス）に現地法人 SEIKA MACHINERY INC.を設立

2000.07 韓国（ソウル）にソウル支店を開設

2001.08 登記上の本店を北九州市小倉北区から東京都千代田区へ移転

2004.01 中国（上海）に現地法人西擘貿易（上海）有限公司を設立

2005.04 日本ダイヤバルブ株式会社を子会社化

西華産業の歩み②

2012.04 西華デジタルイメージ株式会社を設立

2012.12 タイ（バンコク）に現地法人Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.を設立

2015.05 名南共同エネルギー株式会社を設立

2016.03 敷島機器株式会社を子会社化

2019.01 ベトナム（ホーチミン）に現地法人SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITED設立

2020.10 セイカダイヤエンジン株式会社を設立

2022.04 東証プライム市場へ移行

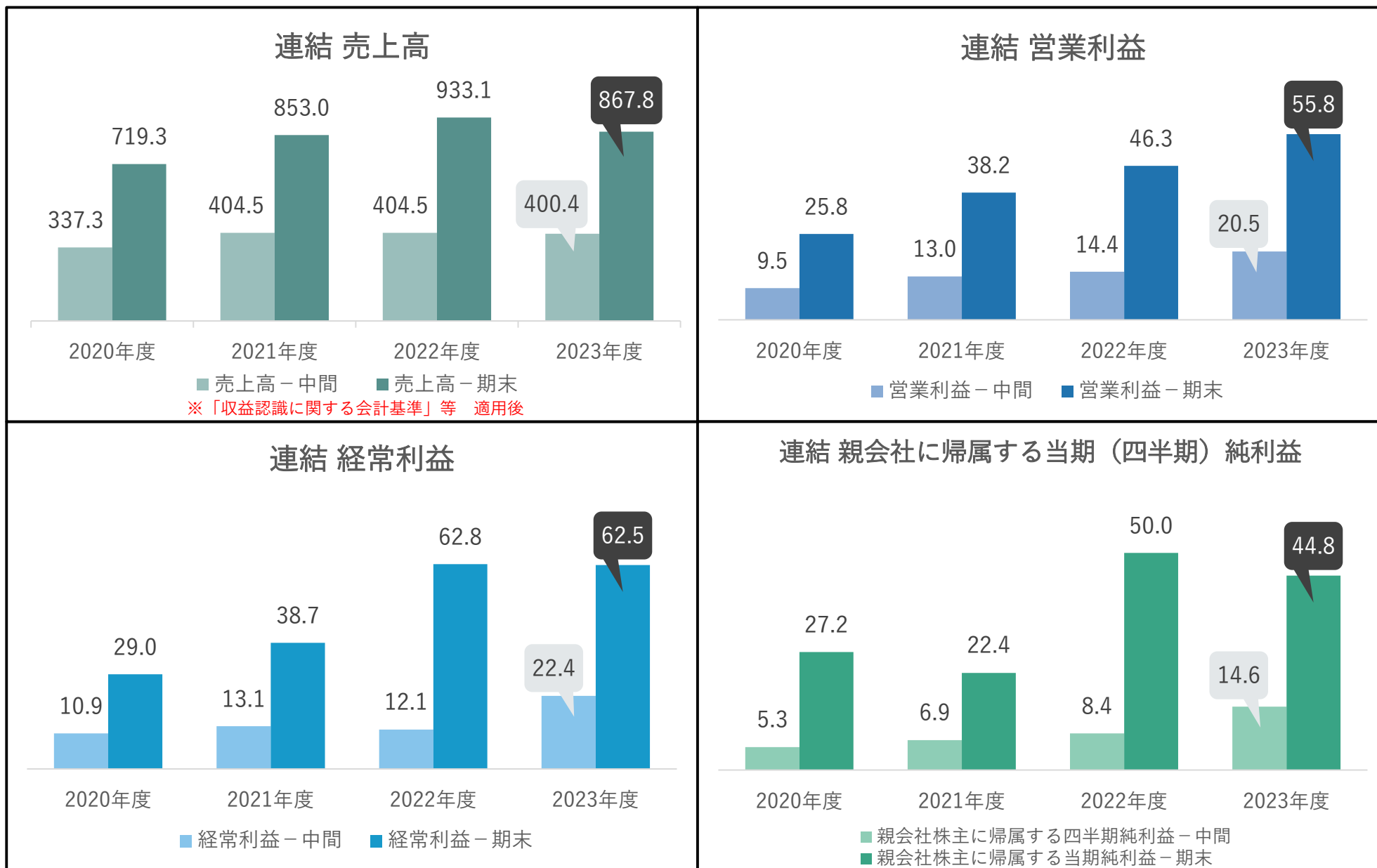
2022.06 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行

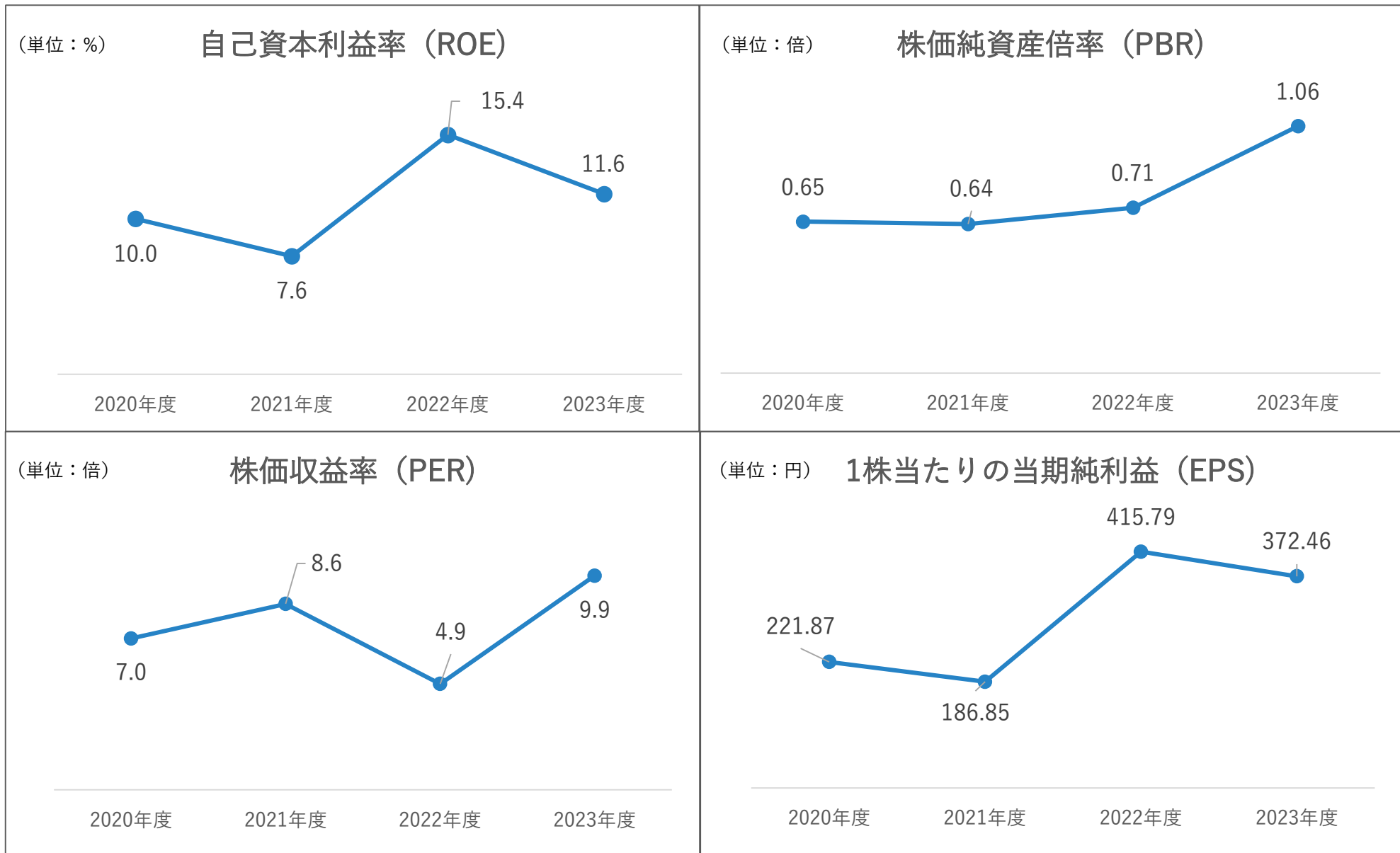
2023.03 株式会社TVEの株式を取得（持分法適用会社化）

2023.11 台湾（台北）に台湾西華産業股份有限公司を設立

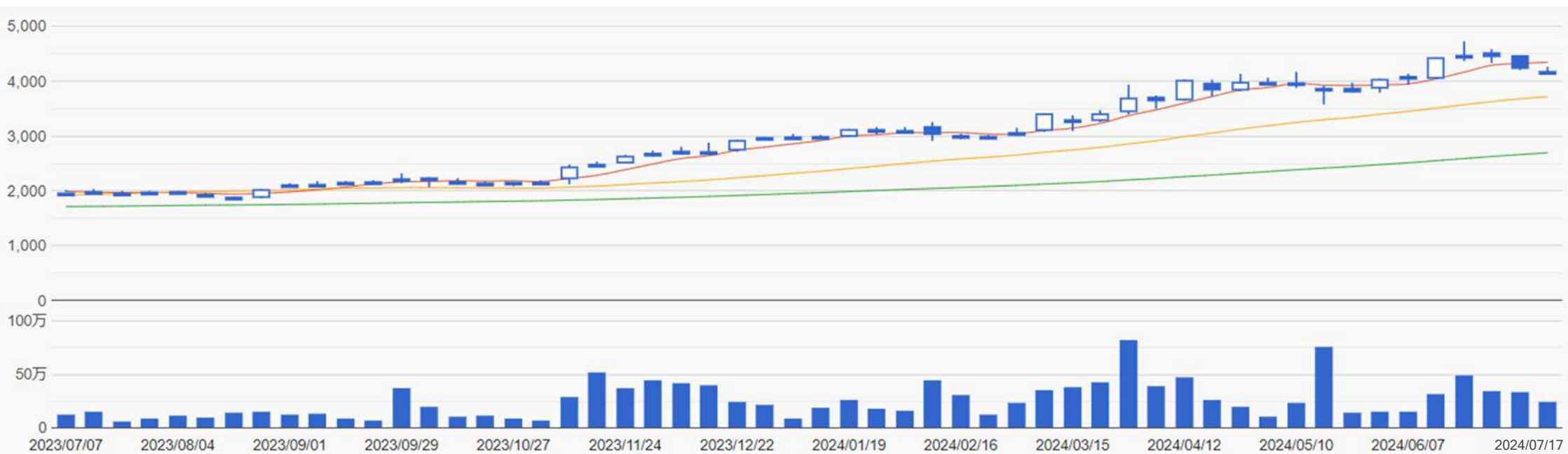
連結決算概要の推移

(単位：億円)





2023/7/7~2024/7/17における株価と出来高推移



トピックス一覧

4月1日	三菱重工業(株)の原子力発電所設備関連の販売代理店業務を開始
5月26日	中期経営計画「VIORB2030 Phase1」策定
7月3日	サステナビリティ委員会設置
7月28日	初の個人投資家向け会社説明会を実施（2023年度で6回開催）
8月1日	西華産業グループ会社セイカダイヤエンジンによる(株)エイトノットとの資本業務提携契約締結
8月10日	マテリアリティ（重要課題）の特定
9月29日	セイカダイヤエンジン(株)による藻場造成に向けた協議会設立
10月25日	(株)シェアードリサーチによるアナリストレポート公開
11月10日	「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を公表
11月10日	台湾西華産業股份有限公司を設立（2024年1月1日営業開始）
11月17日	統合報告書 発刊
12月15日	長期経営ビジョン「VIORB 2030」SDGs応援ファンド出資先／レナテック社「第38回（令和5年度）神奈川工業技術開発大賞(未来創出賞)」受賞
12月27日	ラジオNIKKEI出演／代表取締役社長 櫻井（2023年度で2回出演）
2024年1月11日	日本赤十字社を通じた能登半島地震における災害義援金の寄付
1月31日	西華産業グループ会社セイカダイヤエンジンによる(株)田中造船の株式譲渡契約締結

人材育成

- 社員一人ひとりの個性を尊重し、本人の成長意欲を高めるための環境づくりを推進
- 高度な専門性を伴う実務能力の向上と、幅広い知識・能力の習得を目的に、経営戦略の実現を担う人材の育成（教育研修費用）
- 個人の成長を促し組織の能力・機能向上に資する制度の構築（人事制度改革）
- 経営者として確実な成長を促すためのサクセッションプランを整備（グループ経営人材の育成）

人事制度改革 (2024年度～)

- 年功的な運用からの脱却
- 個人の成長を促し組織の能力・機能向上に資する制度の構築
- 個人の能力等の適正評価と昇給等への反映
- 総合職、一般職等の職掌をなくし、人材の最適配置を図る

国内外における ダイバーシティへの 取り組み

- 当社グループ所属員としての意識醸成、グループ間の繋がり強化を目的として、海外5拠点（タイ、ベトナム、台北、ソウル、上海）から女性社員5名が参加し、東京本社でのチームビルディング研修、グループ会社の業務紹介プレゼンテーションの受講、工場見学を実施
- 国内各場所に所属するアドミ担当社員（延べ40名の女性社員）が参加し、情報の共有化と業務効率化・高度化を目的とした研修を実施。2023年度は業務を遂行する上での課題や「女性管理職の登用／育成」についてもディスカッションを行なった

【採用制度の多様化】

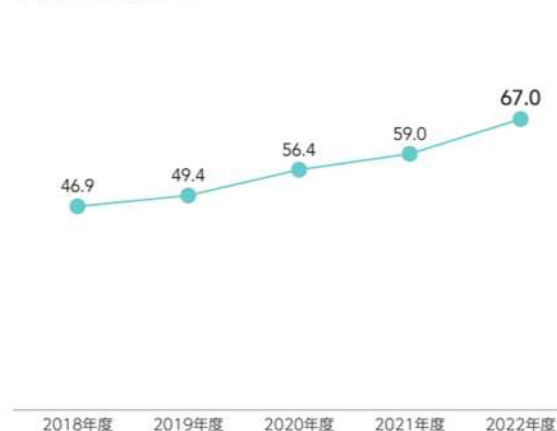
エキスパート	各事業の特性により固有に要求される高い専門性や経験を備える人物を積極的に採用
エリア（地域限定）	各事業の特性や地域性等の事業環境に合わせて、各拠点での事業継続性を担保し、且つ、従業員の働き方の多様性に対応するため、各拠点に勤務地を限定する人材を積極的に採用
キャリア・リターン	これまでに西華産業の社員として働いたことがあり、自己都合により退職した方を対象とした採用
グループ人材活用	グループ会社間における人事（求人・離職）情報の連携を深め、グループ企業内における優秀な人材の最適配置を図る取り組み

【非財務パフォーマンス】

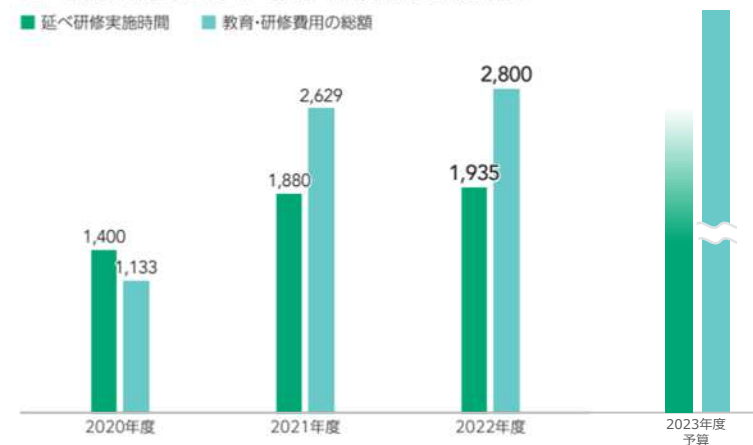
従業員満足度調査(当社・業界平均) (%)



有給休暇取得率 (%)



延べ研修実施時間(時間) / 教育・研修費用の総額(万円)



【域活性化・支援活動】

- 日本赤十字社を通じた能登半島地震における災害義援金の寄付
- 赤い羽根共同募金への寄付
- 日本赤十字社を通じた災害義援金の寄付
- 漁船海難遺児育英会への寄付
- 余剰カレンダー・手帳の寄付（フードバンクTAMA）
- 災害備蓄品の寄贈（NPO法人FUKUSHIMAいのちの水）
- 丸の内キラピカ作戦（地域清掃活動）に参加
- 社員のボランティア活動参加の支援



カレンダー・手帳の寄付。
傷つかないように丁寧に詰めました。



丸の内キラピカ作戦（地域清掃）
に参加しました。

【人道支援活動】

- 難病児への支援活動「ア・ドリーム・ア・デイ IN TOKYO」への寄付
- 古着deワクチンへの支援
- ペットボトルキャップ収集（世界の子どもにワクチンを日本委員会）
- 使用済み切手収集・寄付（日本キリスト教海外医療協力会）



使用済み切手の寄付。
段ボール3箱にもなりました。

